

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

名称	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
調査実施日	令和5年1月25日・26日

②事業者情報

名称	青嵐認定こども園	種別	保育所
代表者氏名	園長 安藝 美紀	定員	96名
所在地	徳島市北田宮2丁目2番58号		

③総評

◇特に評価の高い点

<p>全体的な計画にもとづく、子どもが安心して主体的に過ごすことのできる環境の整備</p> <p>園では、法人が示す理念・会是等をもとに、独自の理念である“とにかくやろう 今やろう”を掲げ、職員の自主性を尊重するとともに、子どもの主体性を重視した教育・保育に取り組んでいる。園の理念等にもとづく全体的な計画には、保育の考え方の中心となる、教育・保育理念や方針、目標などを掲げ、0歳から5歳までの年齢・発達段階に応じた養護及び教育・保育の内容を記載している。子どもの年齢にあわせて、生活と遊びの空間を分けたり、外部講師による教育的サービス（体操・英語・サイエンス・音楽・書道・けん玉）を実施したりするなど、子ども一人ひとりの興味・関心にあわせて、遊びや活動に取り組むことができる環境を整備している。また、1歳児のクラスから2歳児のクラスに移行するにあたり、できる限り1歳児クラスに近い環境を整備するなど、子どもの成長・発達に配慮している。園長は、職員との定期的な個人面談やストレスチェック、メンタルヘルスなどを実施し、安心して働くことができるよう、同僚性の高い体制整備に努めている。職員の安心が、子どもや保護者等の安心に繋がり、園内で心地よく安心して過ごすことができる雰囲気がかがえる。全体的な計画にもとづき、職員同士が連携・協力を図ることで、子どもが安心して主体的に過ごすことのできる環境を整備していることは、評価できる。</p>
<p>安心・安全な教育・保育の提供に向けた取り組み</p> <p>園では、安心・安全な教育・保育の提供に向けて、組織的に取り組んでいる。組織体制図及び職務分掌表を作成し、役割や責任、担当業務等を明確化している。危機管理や感染症、防災等に関する各マニュアルも作成し、職員間で周知を図っている。日ごろの教育・保育のなかで、気づきやヒヤリハット等を収集し、リスクマネジメント委員会のなかで協議・検討している。感染症対策については、消毒・換気等を徹底しつつ、ロールプレイ形式の研修を実施することで、実践に繋げることができるよう工夫している。また、災害対策として、子どもや保護者等への安否確認・連絡方法を定めるとともに、定期的に、園内での避難訓練や近隣学校・消防団等との広域避難訓練を実施するなど、地域の状況を踏まえた取り組みを実施している。さらに、法人や法人が有する4つの認定こども園のグループ（ドリームステージ）での各会議・委員会等に出席し、制度やマニュアル等の見直しを行い、園内環境整備に繋げている。子どもや保護者等の安全確保に向けて、組織的に取り組んでいることは、評価できる。</p>

◇改善を求められる点

<p>教育・保育の質の向上に向けた組織的・継続的な体制の整備</p> <p>園では、毎年、教育・保育の質の向上に向けた自己評価を実施し、評価結果を職員会議で共有している。表出した課題等について、園長を中心として、業務内容やマニュアル等の見直しを行っている。また、本年度、第三者評価の受審に向けて、全職員参画のもと、評価基準にもとづく自己評価を行い、結果を管理職会議で協議・検討して、サービスの質の向上に活かしている。しかし、定期的に、園内でサービスの質の向上に向けて協議・検討する体制を整備するまでには至っていない。今後は、毎年の自己評価について、職員の参画を得つつ分析・検討する場（各委員会等）を設けるなど、保育の質の向上に向けて組織的かつ継続的に取り組むことが望まれる。また、抽出した課題を文書化するなど、課題の共有化を図るための仕組みづくりに期待したい。</p>
<p>職員の教育・保育の質の向上に向けた“期待する職員像”の明確化</p> <p>園では、中長期計画の重点取り組みテーマとして“人財確保・人財育成”を掲げ、職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを実施している。就業規則・給与規程等にもとづき、人事基準等を明確化するとともに、目標管理シートやキャリアプランシート等を活用した目標管理・人事考課を行うなど、総合的な人事管理に取り組んでいる。また、年間の研修計画には、研修を分野別に分けて記載し、職員が研修を受ける意義を示している。今後は、園の理念や教育・保育理念等の実現に向けて“期待する職員像”を明確化し、職員が目指すべき方向・指針等を示すことで、さらなる教育・保育の質の向上に取り組まれることに期待したい。</p>

④福祉サービス第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>この度、第三者評価を受審したことで、創設以来の活動、取り組みに評価いただいたことを嬉しく思います。自園の教育・保育理念、方針等改めて見直し、学ぶ機会となりました。今回、助言、ご指導いただいた内容を分析・検討を行い、園内での委員会等の充実を図ることで課題の共有化に努め、教育・保育の質の向上、標準化、人材育成に取り組んでいきたいと思っております。今後も、園児、保護者、地域に寄り添いながら、地域に根ざした園づくりを目指していきたいと思っております。</p>
--

⑤評価細目の福祉サービス第三者評価結果(別添)